下水道新聞

八月十八日発行
発行者 吉田光希

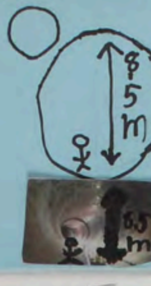
下水のマスコットキャラクター

ぼくは上水のことを調べて、水道のことに関心をもちました。下水のことも調べてその大切さをみなさんに伝えて下水についてくわしくなってほしくて新聞を書きました。

下水・下水道ってなに❓

下水とは上水を使って、みなさんの使い終わった水(汚水)のことです。その水を下水道といいます。その水を流す管のことを下水道(下水道管)といいます。そこを通り水再生センターできれいにされ川などに流されます。

大きいもので8.5m、小さいもので25cm



豆ちしき❗❓

もっと知りたい

油のお話

みなさんの家から汚水・雨水といっしょに流れてくるものには、油があります。その油がかたまったものが…オイルボールです。オイルボールが集まると下水の流れが悪くなります。みなさん、油は流さないようにしましょう。

オイルボールでいっぱいになった下水道

〈水再生センター〉

水再生センターのしくみ

①ポンプ所

地下深くに流れてくる下水をくみ上げて、水再生センターに送ります。

②沈砂池（ちんさち）

大きなゴミを取り除きます。

③第一沈でん池

こまかいよごれを2〜3時間かけてゆっくりしずめて取り除きます。

④反応槽（はんのうそう）

微生物を使って下水にとけているよごれを分解します。

⑤第二沈でん池

反応槽から流れてきたどろを3〜4時間かけてよごれを取り除きます。

⑥上ずみ

第二沈でん池の上ずみをきかいをつかって取ります。

⑦砂ろ過池

砂のそうにとおし小さなよごれを取り除きます。

⑧塩素接触槽（えんそせっしょくそう）

ここで砂のそうを通した水をえんそで殺菌して川や海に返します。

豆ちしき❗❓

もっと知りたい

下水道管のお話

下水道管には合流式と分流式があります。エコなのはどちらなのでしょうか。それは……

合流式とは

家庭などから出る汚水と外でふっている雨水を合流させて水再生センターにいきます。雨水はきれいじゃないかって思はいます。都会では分流式とあって次のこう目にあるように汚水と雨水を分けて流せません。それは地下鉄、道やガス管などがたくさんあって、分けて流せないので合流するのです。

分流式とは

合流式でやったように雨水は汚水とちがってそんなにきたなくありません。なので雨水はそのまま川などに流せます。都会のように地下鉄道などがいっぱいないので汚水と雨水を分けて流せます。なので水再生センターもきれいにする水が少ないため電気を使わないのでエコなのです。

マンホールはなぜ丸いの❓

雨水ますは四角で汚水ますは丸です。下水道局の人がマンホールを取ったりもどしたりしたときにどの向きにしても落ちないからです。

まとめ

ぼくは下水のことを新聞に書くために水再生センターと虹の下水道館へ行きました。水再生センターでは下水がとてもくさかったけれど放流する前の水はにおわなかったです。下水道管や水再生センターはなくてはならないものだとわかりました。

下水クイズ

水再生センターで水がきれいになるまでに、どのくらい時間がかかるでしょうか。

ア 9時間くらい
イ 12時間くらい
ウ 24時間くらい

下水せんりゅう

下水道 地下でこの町 守ってる

広告

下水道局ホームページ
http://www.gesui.metro.tokyo.jp/

東京アメッシュ
都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。
※東京アメッシュは東京都の登録商標です。